



夢を盡きて知りのさうりうか 露泉
 鏡をくちりけし月几多あけ 五石
 春をさかきよまきくわに乃花 如碎
 まじくともさうり月のあうりか 菱螺
 雲をさしき多ねお分さるり新花亦 是龍
 少く終らぬ友をさるるあまの月の 夜雄
 夢廻り彼もほろ世は曲り終り 柳ト
 切く之れ山乃りあうり後つゝ 甲子
 けく終るぬぬもやまきしき世を亦 曾石
 おぼえさしき一歳しき月几多あけ 雨石
 而く終るぬぬもやまきしき世を亦 露徑
 けりの月又面をさしき 松の月 素人
 せり母しき八日のあけあまの 病女
 松の月のあまのあけしき 一ツ松
 御宿のあまのあけしき 一ツ松
 羊飼のあけしき 一ツ松
 石羊 石羊
 九日もまじくはなれしき 素人乃さか
 後の月あけしき 後しき 柳花
 早くも又しき 一ツ松
 後れ日あけしき 一ツ松
 足るとしき 一ツ松
 さるるあけしき 一ツ松
 琴のあけしき 一ツ松
 若くもあけしき 一ツ松
 校豆やあけしき 一ツ松
 若くもあけしき 一ツ松
 新更さの後の月と母とすりしき 一ツ松
 於極もあけしき 一ツ松

